

三田市水道ビジョン懇話会 (第3回) 第2回懇話会の意見と対応方針



令和5年5月16日

1 第2回懇話会の意見と対応方針

委員意見

対応方針

<耐震化>

- 耐震化の問題については、今後10年間でどこまでするのかといったことを明確にする必要がある。

<管路更新>

- 配水支管の更新手法をビジョンで明確に示さなければいけない。
- 管路更新にあたっては、経過年数と耐震化の両方を踏まえてどうするかということをビジョンに書くと、市民にもわかってもらいやすい。

<コストと料金>

- 市民アンケートでは、水道料金に対する不満があるという声もあるが、水需要が落ち込む中で事業継続のためにどうするべきか。水道事業が代替する事業がないため、安易な水道料金値上げができないことも理解している。そのような観点からコストの観点も含めて明確にしてもらいたい。

➤ **次回以降提示**：今回提示する水道施設の更新需要の見通し・投資方針を踏まえて、次回、ご提示します。また、ビジョン（素案）の作成にあたっても留意します。

➤ **次回以降提示**：財政計画の中でご提示します。また、ビジョン（素案）の作成にあたっても留意します。

1

第2回懇話会の意見と対応方針

委員意見

対応方針

<人員不足>

- 人員不足に対して、職員増員や事業の外部委託化、事業量抑制といった色々な選択肢がある。そのようなことを今後の資料で説明してもらいたい。

- **次回以降提示**：財政の収支見通しの結果を踏まえ、次回以降資料でご提示します。

<広報>

- 市民アンケートでは、広報はしっかりやってほしいという意見があったと感じた。次回以降この点を考えてもらいたい。
- 給水管の破裂事故が土日に発生すると、場合によってはすぐに水道を止められない時もあるため、危機管理の点から今後対応を強化した方がよい。

- **ビジョンに反映**：ビジョン（素案）を作成する際に反映します。

<進捗管理>

- 次期ビジョンは数値目標を設定し、進捗状況を把握できるようにしなければならない。

- **次回以降提示**：管路の投資計画において数値目標をご提示します。その他の数値目標についても、ビジョン（素案）を作成する際に検討します。

委員意見

対応方針

＜その他＞

- 財務状況のわかりやすい資料を用意してほしい。
 - バックアップ体制に関する説明は、水融通できると勘違いするため、現実を反映した表現に改めた方がよい。
 - 漏水については、早く原因を把握し、対策を行った方がよい。
 - 工場用の使用水量について、企業別の構成が見える化してもらいたい。
- **次回以降提示**：財政計画の中で、水道事業におけるお金の流れを説明します。
 - **ビジョンに反映**：ビジョン（素案）を作成する際に表現を見直します。
 - **別途対応**：継続して漏水調査を実施するとともに、デジタル技術を活用した漏水発見手法の導入等、早期の原因把握に努めます。また、ビジョン（素案）を作成する際に反映します。
 - **資料作成不可**：個別の企業情報がわかるため、資料の公表はできません。